

**平成30年度岡山市市民協働推進モデル事業
最終評価表**

実施団体	西川エリアまち育て協議体		
協働部署	庭園都市推進課		
記入日	2019年3月28日		

1. 事業の目標と結果

事業の目標 事業提案書に記載された「期待する事業成果・目標値等」または事業を通じて意識されていた目標を一枠に一項目ずつご記入ください。	目標に対する結果 「成果・目標値等」に対する結果をご記入ください。	結果の自己分析 「目標に対する結果」に至った要因や工夫されたこと、うまくいかなかったことなどをご記入ください。
商工会議所や西川エリアの事業者（企業）の参画	組合への声掛けなどにより、今年度は飲食業を中心にホテルも含め 50 以上の事業者が参画。 初年度のため、地域に協議体の存在を知ってもらうことから始めた。	参画企業を増やしたいが、状況を見ながら徐々に実施したほうが良いと考えている。周辺のホテルへの声掛けも次年度事業の進捗に合わせて進めていく。 協議体の認知度向上と並行して参画企業を増やしていきたい。
西川エリアの地域住民、飲食店、公園利用者等が連携し将来像の共有とコンセプト作り	ぐるなび大学との共催で外国人客対応セミナーを開催(8/29)。ホコテン！と同時開催の「通りに名前をつけよう」公開 WS を開催(1/27)。 警察や町内会と、西川エリアの現状と課題、将来像を共有。エリアに関するアンケート調査を実施(回答約 300 件)。市民の意見を反映するデータが得られた。	8 月のセミナーには多くの事業者が参加、1 月の WS ではホコテン！に訪れた多くの市民が協議体の活動を知る機会となった。警察や町内会も西川エリアに協議体と同様の思いをもっていることがわかり、今後も継続的に合同会議の場をもつ予定。 WEB サイトに回答フォームを設置したほかセミナーや WS などの機会に記入をお願いし、多くの回答が得られた。
西川エリアの魅力情報発信	WEB サイトや FB を定期的に更新。各種メディアに活動を取り上げてもらう機会もあった。WEB サイトには岡山市から提供してもらった西川エリアのイベント情報もまとめた情報として掲載している。フリーペーパーを 2 回発行。飲食店や企業に設置したほか、周辺の公共施設からは継続設置したいとの声掛けもされている。県庁通りでのイベントにも参加し、登壇者として活動を PR した。	FB フォローは 200 を超えており、メディアへの取り上げやフリーペーパーの発行、イベント登壇などにより少しずつ活動が浸透してきたと考えている。今後も継続して実施していく。 なお、県庁通りでのイベント登壇や西川エリアでのイベント情報は岡山市との連携により実現したことで、引き続き連携を深めていく。
ルール・ツールの作成 (マップ・通りの名づけ)	継続して検討してきた。次年度の取組として、公開 WS で出た通りの名づけの意見を基に協議体内で仮決定し、関係者と調整の上、マップに反映させて掲載予定。	通りの名前入りマップの作成により、協議体の活動を周知広報しやすくなると考えている。WEB サイト等の資源と合わせ、協議体の認知度の向上につながり協賛者の増加にも発展する見込み。

2. 協働の基本原則に基づくチェックリスト

協働の原則	チェック(できたものに☑)	指標(※指標の番号が大きくなるほど協働が進んでいる状態を表します。)
相互理解の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を明文化した
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を果たした
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体のミッションを理解していた(協働部署が回答)
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 岡山市(協働部署)の方針や計画を理解していた(実施団体が回答)
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署のそれぞれの強みが発揮され、弱みが補われていた
目的共有の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が事業のスケジュールを把握していた
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署の双方の合意によって事業目標が決定されていた
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体と協働部署が事業の成果・課題を定期的に共有していた
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況を共有していた
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況と現状とのギャップを共有していた
対等の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 双方の合意によって役割分担が図られていた
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体の意思・意見が尊重されていた(実施団体が回答)
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 協働部署の意思・意見が尊重されていた(協働部署が回答)
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体のみに役割や責任が集中していなかった(実施団体が回答)
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 協働部署のみに役割や責任が集中していなかった(協働部署が回答)
自主性及び自立性尊重の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が積極的に意思表示をしていた
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業またはその他の意思決定において実施団体に不当に干渉されなかった(協働部署が回答)
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業またはその他の意思決定において協働部署に不当に干渉されなかった(実施団体が回答)
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業またはその他の意思決定において実施団体に依存されなかった(協働部署が回答)
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業またはその他の意思決定において協働部署に依存されなかった(実施団体が回答)
公開の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署間で事業の進捗状況や予算の執行状況が随時共有されていた
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 議事録やイベントごとの報告書が作成され、実施団体と協働部署で共有されていた
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 必要に応じて実施団体と協働部署以外の第三者の助言を仰いでいた
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業の案内が実施団体のウェブサイト等で随時発信されていた
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業の結果が実施団体のウェブサイト等で随時発信されていた